

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.3



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」
の笑顔あふれる補習校～



4月27日(土)は授業参観です

2024(令和6)年4月20日

文責 校長 佐藤 博

来週の授業日である4月27日は授業参観を予定しています。教科等については、各担任からお知らせがあると思いますが、子どもたちが普段どのように授業に取り組んでいるのか、しっかり見てあげてください。教室の場所は前号のベゴニアでお知らせしていましたが、各学級からも通信や Google にてお知らせがありますので、ご確認をお願いします。また最も人数の多い小学部3年の授業は、参観者が入るスペースが無いので、3階の図工室で実施予定です。お間違えないようにお願いします。

当日は授業参観前の11時20分から、保護者待合室として利用している多目的室にて「学校方針説明会」を予定しています。そこでは、本年度補習校として取り組んでいくことや学校の決まり等についてお話しする予定です。資料は今回のベゴニア(裏面)と来週のベゴニアで紹介したいと思います。

また、学級懇談会ですが、13:15～各教室で行います。2クラスある学年は一部学年合同で行うところもありますが、その場合の場所については学年通信等でお知らせいたします。

なお、昼食ですが、普段は校庭や小2教室となっておりますが、懇談会があるときはお子さんの教室でとられても構いません。ただ以前もお願いしたように、ごみは持ち帰るよう、ご協力をお願いします。また、授業中の様子等の写真撮影は禁止としています。ご協力をお願いします。

「補習校50周年行事」のお知らせです

令和6年度はここベルギーの地に日本人学校が誕生して50年という大変めでたい節目の年を迎えます。さらにそのスタートは補習校であり、その5年後に全日制がスタートしたので、本年度は『全日制45周年・補習校50周年』となります。半世紀も前にこの地に日本の教育が始まったというのですから、本当に歴史ある素晴らしい学校なんですよ。

さてこの周年行事ですが、11月30日(土)の「補習校音読発表会」の日に合わせて実施する予定です。現在、学校理事会の方と「周年行事実行委員会」をつくり、少しずつ話し合いを進めていますが、とりあえずこの日程はすでに決定していますので、保護者の皆様にも早めにお知らせしたいと思います。周年行事も兼ねていますので、今年の音読発表会は例年よりも多くの来賓の皆さんが見に来られると思います。いつもよりも張り切って、カッコいい姿を見せてくださいね。



昨年度の授業参観の様子から



50年前のガシヤールの校舎
日本人学校の始まりです↓



ガシヤールの旧校舎

補習校学校方針説明会資料①

このペゴニアの前面にも書きましたが、4月27日の11:20から、2階多目的ホールにて「補習校学校方針説明会」を実施します。補習校がどのような方針で子どもたちを育てようとしているのかを聞いていただくことで、学校と保護者が一体となって「共育」することができるのでは、と考えています。特に本年度、初めて本校に通うことになった新1年生や転入生の皆様には、できるだけ聞いていただきたいと思っております。時間は約30分、4時間目の授業参観前には終わりますので、ぜひ参加の程、よろしくお願いいたします。下の資料は、その説明会で主に話をする1枚目の資料です。当日も資料は配付いたしますが、できれば事前に目を通していただくと助かります

学校方針説明資料①

令和6年4月27日

2024(令和6)年度 学校経営について

ブラッセル日本人学校補習校
校長 佐藤 博

【教育課程】

授業日

授業日	前期	後期	年間計
	23	17	40

授業時数(1時限=45分)

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語	114	114	114	76	76	76	76	76	76
算数数学	38	38	38	76	76	76	76	76	76
計	152	152	152	152	152	152	152	152	152

【時数には入らない授業や活動等】

- ・補習校漢字検定、課外社会科(本年度は休止)、その他の課外授業(前期後半に理科授業の予定)
- ・日本文化にふれる活動:「鯉のぼり」「七夕飾り」「日本の正月デー(正月遊びと書初め会)」、PTAスポーツデー(6月1日)、PTA餅つき会(1月18日)
- ・朝の読み聞かせ(6月8日、11月25日の2回)
- ・異学年交流(小中学部の子供たち同士の『共育』:遊びや読み聞かせ等)の試行
- ・職員研修会(チームティーチングを活用した授業づくりやICT活用等)の工夫
- ・代講師や相談員兼支援員等の教育力を有効活用

【学校教育目標】

- 1 学習指導要領に準拠した国語及び算数・数学の基礎学力を培う。
 - 2 学校生活を通して適切な日本語を身につける。
 - 3 日本の学校文化を体験し、日本人としての心や考え方に触れ、国際性豊かな人間性を育む。
- 学習だけを教える塾や語学学校とは違い、補習校では学習しながら日本文化や日本的な考え方を学ぶことができる場と考える。

【学校運営方針】

- 1 どの子ども目的意識をもち、来るのが楽しみで、充実感がもてる補習校づくり
 - 2 補習校における教師としての役割を認識し、研修・研鑽に励む職員集団
 - 3 保護者との連携を密にし、協力や信頼を得た教育活動
- 「なぜ補習校に通うのか」「ここで何を学び何ができるようになるのか」といった目的や意味を子どもたちだけでなく、保護者にも持ってもらいたい。また教師集団は「もっと学びたい」といった子や親の思いにしっかりと答えていく必要がある。そのために本年度、新たに次のことを行う。

- ①補習校に来る意識を高めるため、中学部には成績によって管理職との面談を実施する。
- ②中学部にあがる際には、自分の目的を再確認させるために、管理職面談を実施する。(11月末)
- ③学力格差や個人差等に対応するためにも、担任一人では指導が難しい場合、できるだけ気軽にサポートに入ることができるような協力体制をつくる。
- ④「どのように目的をもたせていけばいいのかよくわからない」「宿題にどう取り組ませていけばいいか悩んでいる」といった保護者の思いに対応するために、月に2回、教育相談日を設定する。